

新型コロナワクチン接種を受ける前に

次の事項をよくお読みになったうえで、接種を受けてください。

1 新型コロナワクチンの効果

ワクチン接種には、発症予防効果や重症化（入院）予防の効果があることが国内外の複数の報告で確認されています。

なお、既感染者であっても再感染する可能性があり、また、ワクチン接種による追加の発症予防効果が得られることも確認されています。

さらに、いずれの年齢群においても、重症化（入院）予防効果は発症予防効果より高いことが確認されています。

2 予防接種を受ける前に

新型コロナワクチン接種の必要性や副反応についてよく理解しましょう。気にかかることや分からないことがあれば、予防接種を受ける前に担当の医師に質問しましょう。

予診票は原則として接種を受ける方が責任をもって記入し、正しい情報を医師に伝えてください。

新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンは、同時に接種することも可能です。

(1) 予防接種を受けることができない人

- ・接種当日、明らかに発熱（通常 37.5 度以上）のある人
- ・重篤な急性疾患にかかっている人
- ・予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシー※を起こしたことが明らかな人
- ・その他、医師が不適當な状態と判断した人

※通常接種後 30 分以内に起こる強いアレルギー反応のことです。

(2) 予防接種を受ける際に、接種医とよく相談しなくてはならない人

- ・心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する人
- ・予防接種で接種後 2 日以内に発熱のみられた人及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状がみられた人
- ・過去にけいれんの既往のある人
- ・過去に免疫不全の診断がなされている人及び近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
- ・接種しようとする接種液の成分に対してアレルギーを起こすおそれのある人
- ・抗凝固治療を受けている人、血小板減少症又は凝固障害を有する人

裏面もご覧ください

3 予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ・ 予防接種を受けた後 30 分間は、急な副反応が起こることがあります。医師（医療機関）とすぐに連絡が取れるようにしておきましょう。
- ・ 副反応の多くは 24 時間以内に出現します。特にこの期間は体調に注意しましょう。
- ・ 接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすることはやめましょう。
- ・ 接種当日はいつも通りの生活をしてかまいませんが、激しい運動や飲酒は避けましょう。
- ・ 新型コロナワクチンを接種しても新型コロナウイルス感染症を 100% 予防できるとは限りません。新型コロナウイルスをはじめとする感染症の予防には、十分な栄養や休息をとる、外出時のマスク着用や帰宅時の手洗いなどが有効です。

4 副反応

- ・ 接種後に注射部位の腫れ、痛み、発熱等の副反応がみられることがありますが、通常は 2～3 日で消失します。
- ・ 予防接種を受けた後、接種した部位が痛みや熱をもってひどく腫れたり、全身のじんましん、繰り返す嘔吐、顔色の悪さ、低血圧、高熱などが現われたら、医師（医療機関）の診療を受けてください。
- ・ 新型コロナワクチン接種後に副反応と疑われる症状を医師が診断した場合は、医師から「(独)医薬品医療機器総合機構」を通じて厚生労働省への副反応疑い報告がなされます。新型コロナワクチン接種によって引き起こされた副反応により、健康被害が生じた場合は、法に基づく給付を受けることができる場合があります。
詳細は下記までお問い合わせください。

<お問合せ>

○調布市の新型コロナワクチン接種に関すること

調布市 福祉健康部 健康推進課

電話番号 042-441-6135

○副反応にお悩みの方

東京都新型コロナウイルスワクチン副反応相談センター

電話番号 03-5320-5996

受付時間 平日午前 9 時～正午、午後 1 時～午後 4 時